

クラウドストレージ運用の最適化戦略

Dropboxの価格改定、対応済みですか？

Wasabiとの使い分けで  
“運用最適化”を図る方法



Dropboxの価格改定をきっかけに、クラウドストレージの見直しを検討する企業が増えています。特に、ストレージコストの上昇や容量制限の変更によって、従来の運用方法の非効率性が顕在化しています。本ホワイトペーパーでは、DropboxユーザーがWasabiを併用することで、コストと運用の両面で最適化を図る方法を、実践的な視点で詳しく解説します。

## CONTENTS

はじめに .....	P2
Dropboxの価格改定で何が変わったのか? .....	P3
Wasabiという選択肢 .....	P4
DropboxとWasabiの違い（8項目比較） .....	P5
Wasabiでしかできないこと .....	P6
DropboxとWasabiの具体的な使い分け例 .....	P7
導入判断のチェックリスト .....	P8
DropboxからWasabiへの乗り換えを検討すべきケース .....	P9
Wasabiの料金体系 .....	P10
無料トライアル・お問い合わせ .....	P11

# Dropboxの価格改定で何が変わったのか？

Dropboxでは2025年に価格体系とストレージポリシーの見直しが行われ、特にAdvancedプランに大きな変更が加えられました。これにより、従来の「容量無制限」モデルから、利用状況に応じた容量制限モデルへと移行しています。

## 各プランの容量概要

### Standardプラン

全体で5TB。契約ライセンス数に関係なく、全員で5TBを分け合う。

### Advancedプラン

アクティブなアカウント数 × 5TB。全員で分け合う。

### Enterpriseプラン

申請により容量を無償追加可能。実質無制限。

## Advancedプランの変更点

Advancedプランは容量無制限でしたが、契約ライセンスと利用アカウント数に応じて容量が決定するプランに変更されます。これはDropboxのストレージ利用効率を高めるための施策であり、非アクティブなアカウントによる無駄なストレージ消費を抑える狙いがあります。

### 変更点①

#### 容量計算方式の変更

容量がアクティブアカウント数 × 5TBに変更されました

### 変更点②

#### 初期ストレージ

初期ストレージは15TB（3アクティブアカウント）からスタート

### 変更点③

#### 追加ストレージオプション

1TB単位で追加ストレージ契約が可能になりました

### 変更点④

#### 最大容量制限

最大容量は1000TBまでに制限されます

※「Dropbox」はDropbox, Inc.の製品です



この変更により、DropboxのAdvancedプランは実質的に「利用頻度に応じた容量制限付きプラン」へと移行しました。企業によっては、非アクティブなアカウントが多い場合、期待していた容量が確保できない可能性もあります。

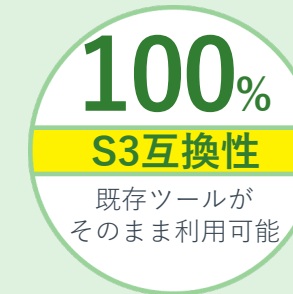
# 「Wasabi」が選ばれる理由

こうした悩みを持つDropboxユーザー企業におすすめなのが、Wasabiです。Dropboxとは異なる設計思想を持つWasabiは、保存に特化したクラウドストレージです。Dropboxのようなコラボレーション機能はありませんが、セキュリティやコンプライアンス観点では優れた機能を持っています。



## コスト最適化とシンプルな料金体系

Wasabiは、従来のクラウドストレージの課題を解決する新世代のオブジェクトストレージサービスです。予測可能なコスト構造により、予算申請時の説明が容易になります。



### 圧倒的なストレージ単価

主要クラウドサービスと比較して最大80%のコスト削減を実現。TB単価が明確で、長期保存に最適な料金設定です。大容量データを扱う企業ほど、その差額は顕著になります。



### 強固なセキュリティ

AmazonS3Standardと同じ99.99999999%のオブジェクト耐久性。オブジェクトロック機能で簡単にランサムウェア対策を実現



### ハイパフォーマンス

Wasabi独自のテクノロジーで拘束ファイルシステムを実現



### 高い互換性と柔軟性

S3 API完全互換により既存のバックアップツール(Veeam、Commvault等)やアプリケーションとシームレスに連携。SMBプロトコルにも対応し、ファイルサーバーとしても利用可能です。Active Directory統合、マルチリージョン対応など、エンタープライズ要件も満たします。



# DropboxとWasabiの違い（8項目比較）

両サービスは異なる用途に最適化されています。Dropboxはファイル共有やコラボレーションに優れたサービスですが、バックアップや長期保存といった用途には過剰な機能やコストがかかることがあります。一方、Wasabiは保存に特化したクラウドストレージで、バックアップ・長期保存・証跡保管といった用途でDropboxより優れた選択肢となります。



Dropboxとの併用で、それぞれの強みを活かした理想的なストレージ環境を構築できます。

項目		Dropbox	Wasabi
1	主な用途	ファイル共有・コラボレーション	バックアップ・長期保存・証跡保管
2	料金体系	ユーザー課金（月額）	容量課金（定額）
3	API互換性	独自API	AWS S3完全互換API
4	保存期間制限	あり	なし（Hot Storage）
5	エクスプローラーで閲覧・操作	×	○
6	暗号化	一部あり	保存時・転送時ともにAES暗号化＋MFA対応

# Wasabiでしかできないこと

Wasabiは、Dropboxでは実現できない以下のような機能を標準で提供しています。



## エクスプローラーで閲覧・操作

現在の操作手順を変えることなく、クラウドに移行が可能。



## イーグレス無料

クラウドストレージからデータを取り出す際の転送料（下り転送）を一切課金しないポリシー。予算管理がしやすい。



## 無期限保存に対応

アーカイブ用途にも最適。  
（保存期間を任意で設定可能30日、90日、180日等）



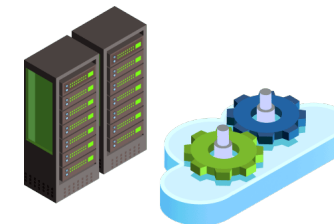
## S3互換API

既存のバックアップツールやクラウドアプリと連携可能。操作方法は変わらず学習コストが不要。



## データセンターの冗長化

災害対策・高耐久性・高可用性・低コスト・強固なセキュリティを同時に実現できる点が最大のメリット。



## ランサムウェア対策

暗号化ファイルのレプリケーション防止を軸にした多層防御。攻撃後も復旧可能。

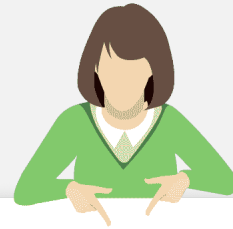
# DropboxとWasabiの具体的な使い分け例

進行中のプロジェクトや頻繁に更新されるドキュメントの管理には、Dropboxが最適です。

一方で、セキュリティやコンプライアンスの観点が重要となる業務、たとえば、契約書や顧客データの長期保存、システムバックアップ、法令遵守が求められる業界（金融・医療・公共機関など）では、Wasabiを併用することでセキュリティ強化・コンプライアンス強化を図ることが可能です。

## Dropboxが最適な用途

- ・チームコラボレーション
- ・リアルタイム編集
- ・アクティブなプロジェクト
- ・頻繁なアクセス
- ・モバイルからのアクセス



例えばこんな使い方が  
できます

## Wasabiが最適な用途

- ・バックアップ・アーカイブ
- ・ランサムウェア対策
- ・長期保存
- ・コスト削減
- ・コンプライアンス対応

営業部門	Dropboxで提案書を共有	➡	成約後の契約書はWasabiで改ざん防止
開発部門	Dropboxで設計資料を共同編集	➡	完成後はWasabiで監査対応
法務部門	Dropboxで契約交渉	➡	締結済み契約書はWasabiで証跡保管
医療機関	Dropboxで研修資料共有	➡	患者データはWasabiで長期保存
建設・設計会社	DropboxでCADファイルや図面を共有	➡	完成後はWasabiで監査対応
	Dropboxでプロジェクトファイルやプレビュー動画を共有	➡	完成動画のマスターデータはWasabiで長期保存


# 導入判断のチェックリスト

このままDropboxを単体で使い続けるか、Wasabiと併用するか、どちらが最適なのかを下記の簡易チェックリストでチェックしてみましょう。

## ▶ Dropboxの使用目的は「共有」か「保存」か？

現在の利用実態を把握し、適切な使い分けを検討します


共有  **Dropbox**がおすすめ

保存  **Wasabi**がおすすめ

## ▶ コラボ機能は必要か？

チーム共同作業の頻度と重要性を評価します

Yes  **Dropbox**がおすすめ

No  **Wasabi**がおすすめ

## ▶ エクスプローラーで確認したいか？

現在使っている閲覧方法を確認します

Yes  **Wasabi**がおすすめ

No  **Dropbox**がおすすめ

## ▶ S3互換APIの活用予定はあるか？

既存システムとの連携可能性を検討します

Yes  **Wasabi**がおすすめ

No  **Dropbox**がおすすめ

## ▶ ランサムウェア対策を強化したいか？

セキュリティリスクへの対応方針を確認します

Yes  **Wasabi**がおすすめ

No  **Dropbox**がおすすめ

## ▶ 社内NASやオンプレ環境のクラウド移行を検討しているか？

インフラ戦略全体の中での位置づけを考えます

Yes  **Wasabi**がおすすめ

No  **Dropbox**がおすすめ

# DropboxからWasabiへの乗り換えを検討すべきケース



コラボ機能を重視しないなら、DropboxからWasabiへ乗り換えも選択肢の一つです。

**Wasabi**は、共有機能を必要としない用途（例えば社内バックアップや長期保存）において、Dropboxよりもコスト効率が高く、運用もシンプルです。Dropboxの機能を使い切れていない場合は、Wasabiへの移行を検討する価値があります。

**特に、法的証拠保管や改ざん防止が求められる業務では、Wasabiのセキュリティ機能が大きな強みとなります。** Dropboxとの併用だけでなく、用途によっては完全移行も視野に入れるべきです。

Wasabiは、**クラウドストレージの「保存」に特化した設計思想を持っており、**

Dropboxの「共有・編集」とは異なる価値を提供します。

両者を適切に使い分けることで、企業の情報管理はより強固で柔軟なものになります。

Dropboxの  
セキュリティ面に  
不安…

Dropboxの機能を  
使い切れていない

こんな方はWasabiへの乗り換えをご検討ください！

パナソニック デジタルでは、DropboxからWasabiへスムーズに移行するためのサポートをご用意しています

## 移行計画の策定

現在の利用状況を分析し、最適な移行プランをご提案します。

## 設定・運用サポート

Wasabi環境の初期設定から運用開始まで、技術的な支援を行います。

## データ転送支援

大容量データの安全かつ効率的な移行をサポートします。

## セキュリティ・バックアップ設計

オブジェクトロックや耐久性を活かした安全なバックアップ構成をご提案します。

# Wasabiの料金体系

Wasabiには、バックアップやアーカイブに最適な「Wasabi Hot Cloud Storage」と、社内ファイルサーバのように使える「Wasabi Cloud NAS」の2種類のラインナップがあります。Wasabi Hot Cloud StorageはDropboxの追加ストレージとほぼ同等の価格のためDropboxと併用しやすく、またDropboxからWasabiへ完全移行する場合は圧倒的なコスト削減を期待できます。

## 他社より 約80%安価

— ★★★★★ —  
5TBで月額6,670円～と圧倒的な低価格。  
他社クラウドストレージと比較し約80%安価。  
そのうえ、データ転送料も無料。



## 容量×年数の シンプルな料金体系

— ★★★★★ —  
一般的なクラウドストレージの課金体系は  
ユーザー課金だが、Wasabiは容量課金のため、  
ユーザーが増えるほどコストメリットが大きい。



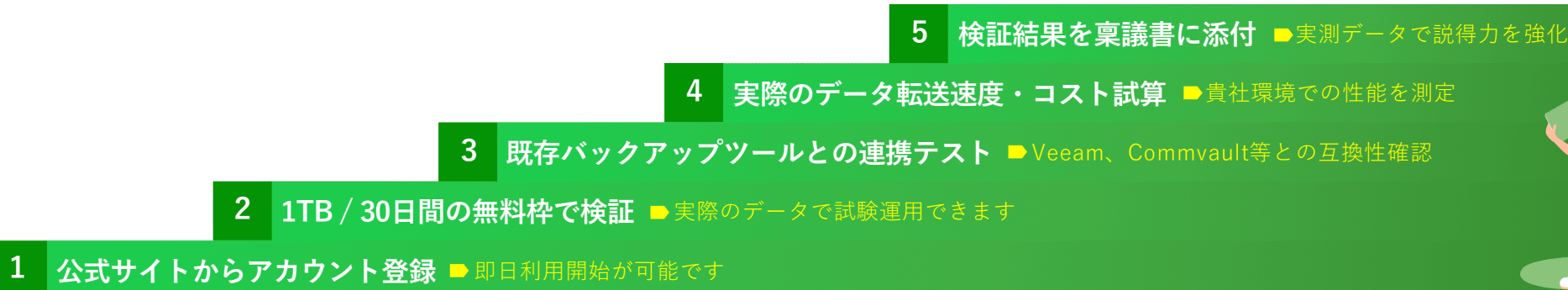
### Wasabi Hot Cloud Storage

### Wasabi Cloud NAS

5TB	6,670 円 / 月～	8,670 円 / 月～
10TB	13,340 円 / 月～	17,340 円 / 月～
25TB	33,350 円 / 月～	43,350 円 / 月～
50TB	66,700 円 / 月～	86,700 円 / 月～
100TB	133,400 円 / 月～	173,400 円 / 月～

# 無料トライアル・お問い合わせ

乗り換えかWasabiとの併用かをお悩みでしたら、まずは**無料トライアル**で、実際のコストとパフォーマンスをご確認ください。  
貴社環境での検証結果があれば、稟議の説得力が大幅に向上します。



## よくあるご質問

Q. 最小利用期間はありますか？

A. 1年契約となります。月額請求が可能です。

Q. 既存のバックアップソフトは使えますか？

A. はい、S3互換APIを持つため、Veeam、Commvault、Acronisなど主要製品と連携可能です。

Q. セキュリティ認証は取得していますか？

A. SOC 2 Type II、ISO 27001、PCI DSS等の主要な認証を取得済みです。

Q. 日本国内にデータセンターはありますか？

A. はい、東京と大阪にリージョンがあり、データは日本国内に保管されます。

まずは無料トライアルで検証を開始し、並行して本資料のシミュレーション数値を貴社環境に合わせて調整してください。  
実データに基づく稟議書は、承認率を大きく高めます。ご不明点があれば、いつでも当社担当営業までお問い合わせください。

お問い合わせはこちら

Panasonic

ご連絡先

パナソニック デジタル株式会社

大阪本社 ☎06-6906-2801 📍〒530-0053大阪市北区末広町2番40号 Panasonic XC OSAKA  
東京本社 ☎03-5148-5634 📍〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目21番1号